



## ニュース 13号

Information, Communications, and Attention-Related Empowerment Center for the Challenged  
in Hokkaido 障害者のための情報と通信と人々の理解に関するエンパワーメントセンター北海道

### マイトビー研修を行いました



クreaクトの伊藤さんが突然来札されて、急きょ内輪の勉強会となりました。スタンドの立て方から始まって、視線の調整、アプリケーションの設定方法、最後は納品時のロールプレイまで、6時間！

マイトビーにはたくさんの方が期待を寄せていて、問い合わせも多くいただきます。「見る」だけでパソコンの入力ができる、体が動いても視線をとらえることができる、操作は簡単だが高度なことができる、など素晴らしい機器だと思いますが、ただひとつの欠点は価格が高いことです。そのため国が補装具として給付するのは、「伝の心」などの入力ができず、マイトビー以外には使う機器がないことという厳しい条件がつきます。

この後、iCareに一世代前のマイトビーを貸し出して下さるそうです。病院等の医療者の方にも見ていただこうと思っています。

### 『学んでチャリティ』が始まります！

iCareほっかいどうでは活動を維持していくために、チャリティ講座を開催していくことにしました。趣旨に賛同して下さる方や勉強したい方の参加をお待ちしております。

第1回『学んでチャリティ』講座 気持ちも新たに「iPad1年生」講座始めます。

講師：Katou建築工房1級建築士の加藤達矢さんです

- ・ iPad初心者向け講習
- ・ iPadで何ができるの？
- ・ 便利なアプリの紹介（高齢の方、障害のある方にも便利なアプリ）
- ・ 今さら聞けない設定方法、iPadを使うときにかかる料金・・・などなど

日時：平成25年4月13日（土）

時間：10:30～12:00 13:00～14:30（12:00～13:00昼休み お弁当付です）

定員：10名

iPad：基本は自分のiPadを持ってきていただきますが、まだ持っていない方には貸し出しもします。

受講料：3000円（受講料はiCareほっかいどうへの寄付金とさせていただきます）

2013年4月

## 視線入力体験会（帯広）

帯広の病院で、ALSの患者さんが視線入力による意思伝達装置のC15という機種を体験されました。

体験された方の後ろにはご家族、訪問看護ステーションの皆さん、ケアマネ、病院のリハビリ担当者、医師などを含め、10名以上の皆さんが見学されていて、患者さんも最初は緊張気味でしたが、Pパソコン経験があり、理解はとて速く操作も円滑でした。現段階で申請されるということではないそうですが、体が少しでも動く段階での体験は、とても貴重なことだと思います。何より、支援して下さる人たちが一人の患者さんのためにこんなに集まって下さることが素晴らしいと感じました。

一人一人の患者さんにとって、いろいろな意味で負担のない、そしてしっかりとコミュニケーションがとれる機器。そして支援体制…。4月からは新年度。障害者総合支援法が、意思伝えを使われる皆さんにとって少しでも背中を押してくれる制度でありますように！

## 福祉医療機構（WAM）の助成事業が終わりました

2012年6月から始まったWAMの助成事業が終了しました。

NPO法人くるくるネット（室蘭市）、苫小牧市障がい者パソコンボランティア友の会（苫小牧市）、土曜ヤングまちづくりボランティアスクール（帯広市）、NPO法人ひまわり（函館市）の4団体と連携して事業を進めました。各連携団体の地元4か所でボランティア養成研修会を行いました。地方研修会のアンケートでは、非常に良い感触が得られました、これまでこの活動を知らなかった方には活動の意義を知っていただき、また少し関わりのある方には深く学んでいただく機会となりました。毎回、機器を持参して展示し、機器に触れていただく機会を作りました。

また、活動報告会では実際に意思伝達支援機器を使っている患者の家族の話をお聞きし、その言葉の重さに感銘を受けました。井村保先生からは、コミュニケーションとは？から始まり、これまでの機器の経緯、最新の機器の情報や制度についてご講演いただきました。

一方、実際の患者の支援については、札幌市内40名、市外33名の支援を行うことができました。できるだけ各地のボランティアにも同行していただき、今後の支援活動につなげることをめざしました。

地方研修会の内容、活動報告会の講演内容を含めた「活動報告書」には患者の支援一覧を掲載しました。少数のボランティアが少数の患者の支援をしている現状があり、今後の患者支援に役立てていただければ幸いです。

北海道新聞に3回にわたって掲載していただいたことから、全道各地の患者の家族、医療者、友人などからさまざまな問い合わせをいただきました。また、活動報告会に井村保先生をお呼びしたことから、全国の状況や国の意思伝達機器の給付に関する考え方を知ることができ、facebookなどで全国的なつながりを持つことができました。他団体と情報交換しながら、活動を進めていきたいと思ひます。

「活動報告書」をご希望の方はご連絡下さい。

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目 SITY ビル 6F

T)011-222-4462 F)011-596-8794 [jimu@icare-h.org](mailto:jimu@icare-h.org) <http://icare-h.org/>